

新しい幸せを、わかすこと。



第70期 中間株主通信

2019年1月1日～2019年6月30日

ノーリツは環境省が認証した
エコ・ファースト企業です。

株主の皆さまへ To Our Shareholders

2019年12月期(第70期)第2四半期
連結累計期間決算概要

当社グループの2019年12月期(第70期)第2四半期連結累計期間の決算は、売上高が前年同期と比較して5.3%減の955億円、営業損失5億円、経常損失3億円、親会社株主に帰属する四半期純損失9億円となりました。このような厳しい状況となったのは、国内は主力の温水機器需要が対前年同期比90%と大幅に減少したこと、海外は米中貿易摩擦により中国市況停滞を受け、売上高が前年同期を大きく下回り、国内外共にそれぞれの主力分野が市況低迷の影響を受けたことが主な要因です。

このような中、総費用削減に努めましたが減収による売上総利益減少をカバーできず、第2四半期連結累計期間の決算において本業のもうけを示す営業損益が上場以来、初めて損失を計上することとなりました。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

代表取締役社長 國井 総一郎

国内事業

国内事業は、売上高が707億円(前年同期比5.2%減、内部取引含)、セグメント損失が2億円となりました。主力の温水空調分野は温水機器需要が対前年同期比90%と大幅に減少し、売上高は501億円(前年同期比7.3%減)となりましたが、シェアは拡大しました。厨房分野は売上高94億円(前年同期比2.2%増)と前年同期を上回りました。住設システム分野は売上高が前年同期並みの56億円となりました。温水機器需要の大幅な減少による販売台数減少をコストダウンや販管費削減など総費用削減に努めましたが減収減益となりました。

海外事業

海外事業は、売上高が293億円(前年同期比5.3%減、内部取引含)、セグメント損失が2億円となりました。中国エリアは

178億円（前年同期比15.7%減）、北米エリアはM&Aが寄与し59億円（前年同期比54.2%増）、豪州エリアは前年同期並みの31億円となりました。海外事業売上高の約7割を占める中国市況が米中貿易摩擦の影響を受けて第1四半期から停滞し、その影響を受け減収減益となりました。

エリアにおける販路拡大と新規商材拡販によって減収を食い止め、北米エリアはM&Aした子会社の暖房事業、業務用事業とのシナジーを高め、売上高の拡大を図ります。

2019年12月期（第70期）に係る株主還元方針の変更について

2018年度から2020年度までの3カ年について、自己株式取得を含めた連結ベースの総還元性向50%を目途とし、株主の皆さまへのより積極的な利益還元に努めております。但し、2019年度については、総還元額を期初に公表した親会社株主に帰属する当期純利益38億円の50%を下限とすることに变更いたしました。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題のひとつとして位置づけ、2018年8月9日に株主還元方針の変更についてお知らせしておりましたが、この度、株主還元の実効性を確保するために、2019年12月期の株主還元方針を変更することにいたしました。今後も株主の皆さまへのより積極的な利益還元に努めてまいります。

2019年12月期（第70期）連結業績予想修正と見通し

当第2四半期連結累計期間の国内・海外の状況を踏まえ、2019年12月期の業績見通しを7月10日に修正しました。売上高を当初計画より115億円減少させ2,030億円とし、営業利益は38億円減少の15億円としました。それに伴い経常利益は25億円、親会社株主に帰属する当期純利益は11億円とそれぞれ下方修正しました。上半期に引き続き、国内の温水機器需要は従来予想の対前期比97%から92%に引き下げた上での販売計画に見直し、中国市況の想定以上の悪化を踏まえ中国エリアの売上高計画を横ばいから対前期比86%に引き下げました。

国内事業は、温水機器需要が消費税増税の駆け込み需要を受けにくく、市況低迷が続くことから生産性向上、業務提携したトクラス(株)へのシステムキッチンの生産移管による固定費の変動費化など総費用削減を前倒して進めます。海外事業は、中国

詳細は当社ホームページに掲載されている「株主・投資家向け情報」をご覧ください。



<https://www.noritz.co.jp/company/ir/>

第70期（2019年12月期）計画

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
203,000 百万円	1,500 百万円	2,500 百万円	1,100 百万円
前期比 3.3%減	前期比 68.8%減	前期比 60.1%減	前期比 81.0%減

NEWS システムキッチンをつトクラス(株)へ生産移管

従来当社の連結子会社で開発、生産していた、システムキッチンの生産を業務提携契約書を締結したトクラス(株)へ委託しました。4月、トクラス(株)との共同開発でフルモデルチェンジした「recipia(レシピア)」をトクラス(株)から初出荷しました。

新製品は、当社が得意とする台所の空間に合わせてキッチンの間口を10mm刻みで調整できる「Just（ジャスト）」対応や、奥行き450mmのカウンターをL型に配置して配膳スペースや収納を増やせる拡張プラン「つかエール」などを継承し、質感と耐久性の高いトクラス(株)製の人造大理石のカウンターを搭載、両社の強みを活かした魅力のあるシステムキッチンです。

これからも、お客さまのご要望にお応えするキッチン空間を提案してまいります。



トクラス株式会社

1 ガスビルトインコンロ「PROGRE (プログレ)」の新製品発表会&試食会を7月に開催

2019年8月にガスビルトインコンロの新製品「PROGRE (プログレ)」を発売、それに先立つ7月にマスコミ各社を集めた、新製品発表会&試食会を開催しました。

同製品はグリル部に「マルチグリル」を搭載、[焼く][煮る][蒸す][ごはん][パン]などのこれまでの調理モードに、業界初となる[燻製モード][低温調理モード]を加え、“グリルは魚を焼く場所”という従来の常識を一新しました。

当社では、共働きや子育て世帯で高まる“省手間・時短ニーズ”に向けて、「マルチグリル」による美味しい「内食(うちしょく)」を応援し、ご家庭における豊かな食文化に貢献してまいります。



2 ノーリツアメリカが設備、メンテナンスを行うFRG(Facilities Resource Group)をM&A

2019年2月、ノーリツ連結子会社のノーリツアメリカが、レストランなどのタンクレス給湯器ラックシステムの設計、製造、設置を行う、FRGをM&Aしました。

今後、ノーリツアメリカではレストランなど業用分野などの提案を強化し、販売先を拡大、さらにシステム施工の提案やメンテナンスのノウハウを共有することでシナジーを図ります。



ラックシステムに設置した業務用給湯器

3 「環境 人づくり企業大賞2018」で優秀賞を受賞

2019年5月、「環境 人づくり企業大賞2018」(主催：環境省、環境人材育成コンソーシアム EcoLeaD)の表彰式が開催され、当社が優秀賞を受賞しました。

「環境 人づくり企業大賞」は、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」第22条の2第2項に基づく表彰です。地球環境に配慮した企業経営の必要性を認識し、その実現のため自ら進んで行動する人材(環境人材)を育成する企業を奨励するもので、今回が5回目の開催となります。

今回、当社のSDGsの社内浸透活動や、eco検定取得推進、さらに琵琶湖外来魚駆除釣りなど地域社会と連携したボランティア活動を行っている点が評価されました。



新製品情報

NEW PRODUCTS

2019年
8月発売

ガスビルトインコンロ
「PROGRE (プログレ)」をリニューアル

「マルチグリル」を搭載した高級価格帯のガスビルトインコンロ「PROGRE (プログレ)」の機能とデザインを一新して発売しました。業界初となる[燻製モード][低温調理モード]などを新たに搭載、一部の従来機能も拡充しました。



2019年
8月発売

ガステーブルコンロ
「La.La plus (ララ プラス)」を発売

グリル調理後のお手入れが楽になる“クックボックス”(別売)に対応した「La.La plus (ララ プラス)」を発売しました。当商品は“無水両面焼きワイドグリル”を搭載、大きな食材が一度にたくさん入り、裏表を返す手間がなく、ガス火で美味しく焼くことができます。オートグリル機能を利用し、メニューを「姿焼・切身・干物」から、焼き加減を「強・標準・弱」から選択して点火するだけで、時間を自動で調節して焼き上げます。



4 ノーリツ女子陸上競技部の中野円花(まどか)選手が「ドーハ2019世界陸上選手権大会」のマラソン日本代表選手に選出 女子マラソンは2019年9月28日(土)朝6時スタート

ノーリツ女子陸上競技部の中野円花選手が「ドーハ2019世界陸上選手権大会」のマラソン日本代表に選出されました。中野選手は1月に開催された「大阪国際女子マラソン」で自己ベストを4分02秒更新する2時間27分39秒の4位(日本人2位)でゴールし、東京五輪マラソン代表選手選考会(MGC)への出場権を獲得していました。今回MGCが世界選手権開幕前に行われるためMGC出場を見送り、日本代表として世界で戦うことを優先し出場を決めました。



5 大手農業資材メーカー(株)誠和と業務提携し、 農業界初となる“低温CO2局所施用システム”を共同開発

2019年2月、大手農業資材メーカー(株)誠和と業務提携して、低温のCO2をハウスに供給できるシステム「真呼吸」を共同開発し、8月から発売しました。「真呼吸」は作物にCO2を供給して光合成を促し、収穫量の増加を図るシステムです。CO2の温度が低く夏季でも使用可能です。当社は農業分野への初参入となります。

現在、農業分野では、担い手不足や農業生産技術の高度化の流れの中、ハウス栽培などの作物の収穫量増加や、品質向上を目的とした、施設園芸の高度な環境制御(温度・CO2・湿度・光・気流速などを管理)の普及が進んでいます。今後、(株)誠和と当社は両社の強みを活かし、施設園芸の環境制御の高度化に向けて取り組んでまいります。



真呼吸

6 大手飲料メーカー(株)伊藤園とむぎ茶殻配合の給湯器用緩衝材を共同開発

2019年9月、むぎ茶飲料生産後のむぎ茶殻をリサイクルした給湯器用緩衝材を開発し、2019年9月からガス給湯器の梱包材として順次採用していきます。今回の共同開発は、当社の「テックス」を活用した緩衝材開発技術と、(株)伊藤園の「むぎ茶殻リサイクルシステム」を組み合わせた、むぎ茶殻リサイクル製品の第1号となります。

当社では1998年から給湯器用緩衝材として、古紙を再利用して圧縮形成した「テックス」を使用することで、環境負荷低減に努めてまいりました。これまで使用していた「テックス」の使用量約20%をむぎ茶殻に代替することにより、緩衝材としての機能(固定性と緩衝性)はそのままに、重量約7%軽量化を実現し、再資源化と配送時における環境負荷の軽減に貢献してまいります。



C T S I N F O R M A T I O N

2019年
9月発売

業界最小・最軽量^(※)の
高効率50号業務用ガス給湯器を発売

大量にお湯を必要とする宿泊施設や入浴施設などの業務用市場に向けて、屋外壁掛形の高効率50号業務用ガス給湯器GQ-C5042WZ・エコジョーズを発売。新設計により、従来機種から容積を25%、質量を5kg削減。コンパクト・軽量化を実現して搬入および設置性・施工性を向上させました。

(※)2019年5月現在



2019年
8月開始

無線LAN対応給湯器リモコンが
Google Home と LINE Clovaに対応

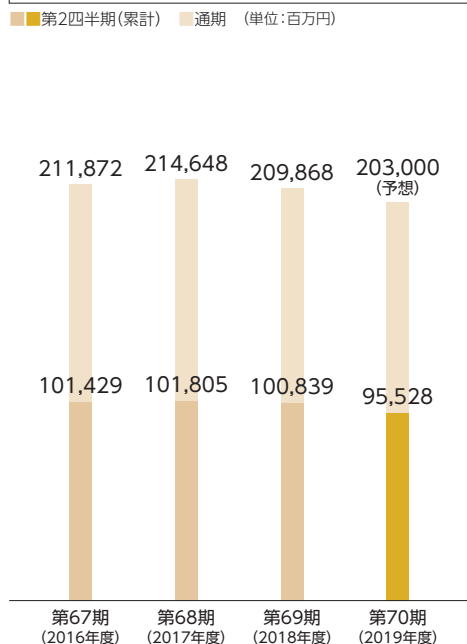
無線LAN対応給湯器リモコン「RC-G001EWシリーズ」、RC-G057PEW」が、Google が提供しているスマートスピーカー「Google Home」など Google アシスタント搭載のデバイスおよび、LINE(株)が提供しているスマートスピーカー「Clova Desk」や「Clova Friends」などAIアシスタントClova搭載のデバイスに対応しました。音声による浴槽へのお湯はりや床暖房のON・OFFなどの操作が可能になります。

Google Home

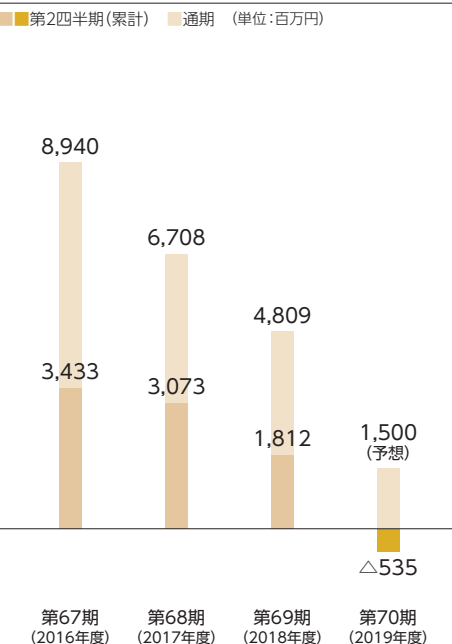
LINE Clova



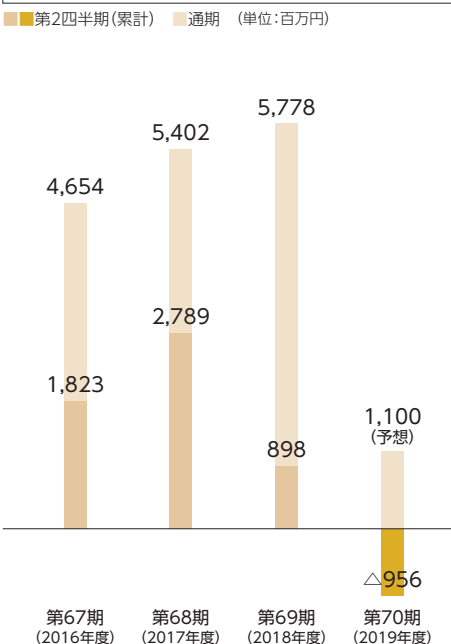
売上高



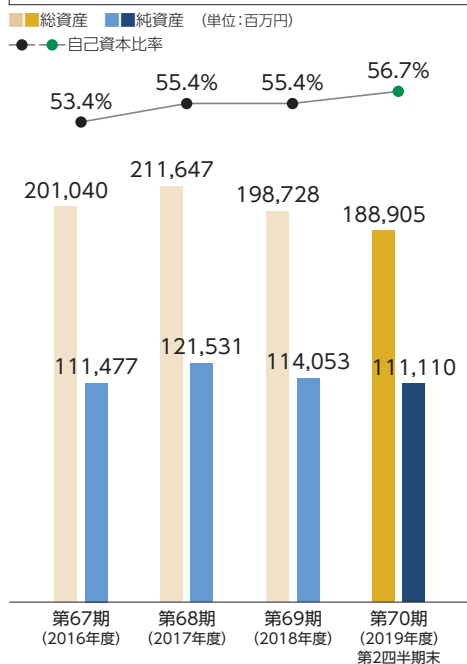
営業利益または営業損失



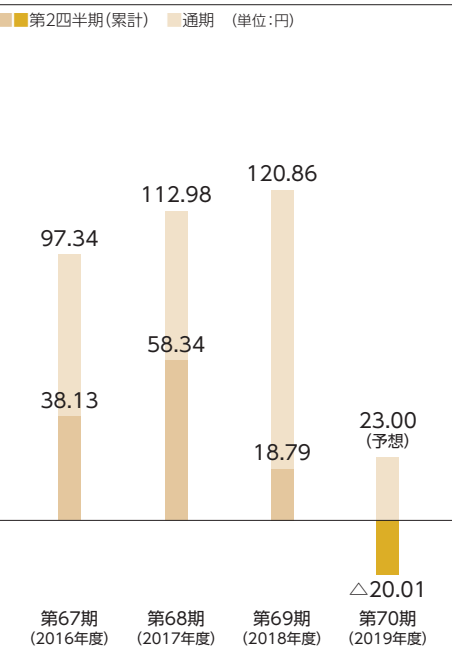
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益または四半期(当期)純損失



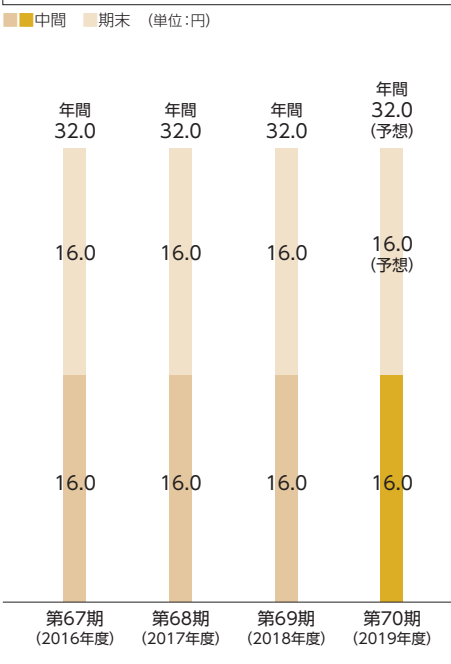
総資産・純資産・自己資本比率



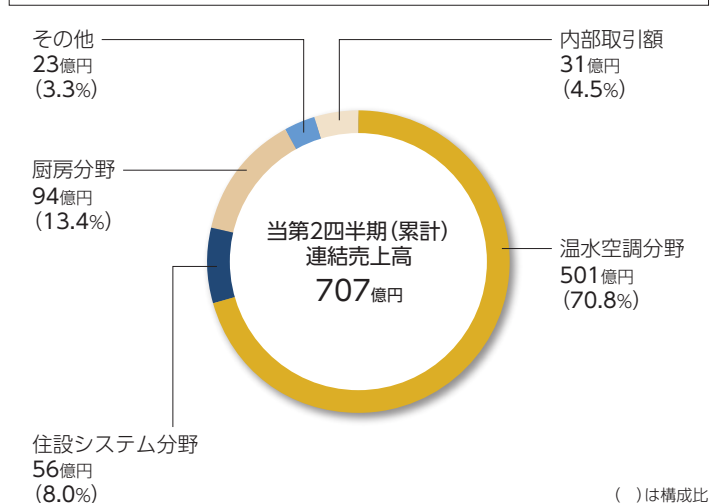
1株当たり四半期(当期)純利益または四半期(当期)純損失



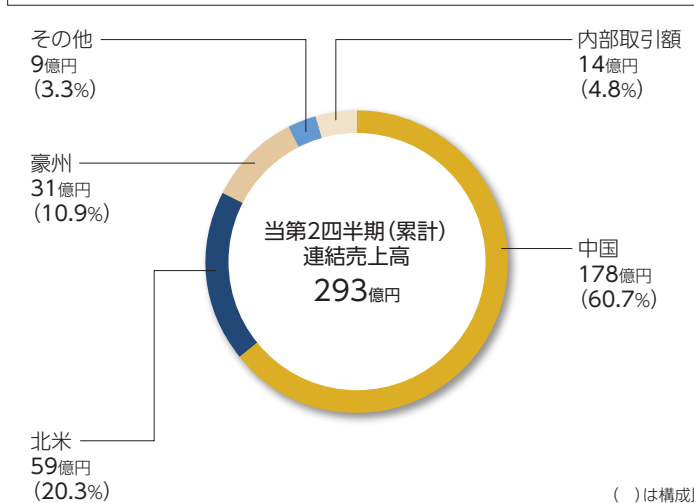
1株当たり配当金(年間)



国内事業の分野別売上高構成比



海外事業のエリア別売上高構成比



会社データ

商号 株式会社ノーリツ
 英文名 NORITZ CORPORATION
 本社所在地 神戸市中央区江戸町93番地
 設立 1951年3月10日
 資本金 20,167百万円
 従業員数 2,808名(単体)
 (2019年6月30日現在)
 営業品目 ガス温水機器、石油温水機器、温水
 暖房システム、空調機器、ガスファン
 ヒーター、産業用太陽光発電シス
 テム、太陽熱温水器、システムバス、
 システムキッチン、洗面化粧台、厨
 房機器、業務用浴室設備機器など

取締役および執行役員

代表取締役社長	國井 総一郎	常務執行役員	廣岡 一志
取締役兼専務執行役員	腹巻 知	常務執行役員	久保田 典男
取締役兼専務執行役員	廣澤 正峰	常務執行役員	東内 雅典
取締役兼常務執行役員	水間 勉	常務執行役員	久内 雅志
取締役兼常務執行役員	竹中 昌之	常務執行役員	井上 隆史
取締役(社外)	高橋 秀明	執行役員	瓜生 尚志
取締役(監査等委員)	綾部 剛	執行役員	楠 克博
取締役(監査等委員)(社外)	小川 泰彦	執行役員	池田 英礼
取締役(監査等委員)(社外)	正木 靖子	執行役員	内田 知浩
		執行役員	滝居 和弘
		執行役員	吉田 猛志
		執行役員	吉本 厚志

▶ 株式の状況 Stock Information (2019年6月30日現在)

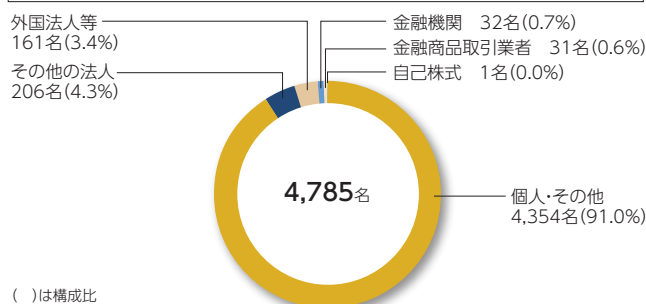
発行可能株式総数 156,369,000株
 発行済株式の総数 50,797,651株
 株主数 4,785名

大株主の状況

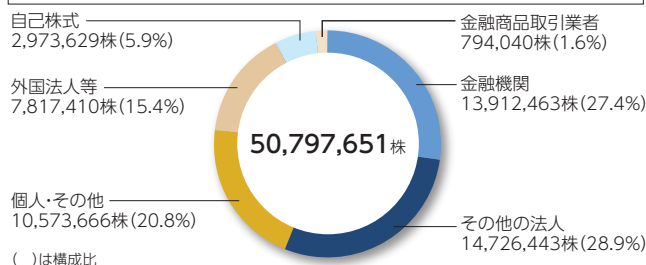
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	2,303,100	4.82
株式会社三井住友銀行	2,199,695	4.60
ノーリツ取引先持株会	1,859,209	3.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,832,700	3.83
株式会社長府製作所	1,520,000	3.18
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON	1,437,600	3.01
太田敏郎	1,350,100	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,294,000	2.71
ノーリツ従業員持株会	1,288,715	2.69
ノーリツ得意先持株会	1,152,800	2.41

(注1) 当社は自己株式2,973,629株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
 (注2) 持株比率は、自己株式2,973,629株を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
上場証券取引所	東証第1部
公告方法	電子公告 <電子公告掲載ホームページアドレス> https://www.noritz.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によつて電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告を行います)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

製品に関するお問合せ先

ノーリツコンタクトセンター 0120-911-026
 (平日:9:00～18:00、土日祝:9:00～17:00)
 (携帯電話から 0570-064-910)

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777(通話料無料)

